# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

代表電話番号 0225(22)7711
広報専用FAX 0225(22)7809

## 簿記インカレ 団体戦２級の部

## 石鳳会計研究会

# 通算10回目の優勝

▶ 坂田隆学長（前列右端）に優勝を報告した石鳳会計研究会のメンバーたち

石鳳会計研究会が簿記のインターカレッジ「2014年春季全国大学対抗簿記大会」（5月31日、全国17会場）に出場し、団体戦2級の部で通算10回目となる優勝を果たした。

個人戦は、3級の部で須藤真美さん（経営2・宮城県古川黎明高）が優勝。2級の部でも関雅史さん（経営2・宮城県大河原商業高）、齊藤遥香さん（経営2・岩手県水沢商業高）が100点満点中96点で6位タイに入賞するなど健闘した。

須藤さんは「入学後から簿記を学び始め、サークルで本格的に取り組んでいます。分からないところはその都度、先輩や友人に教えてもらいながら勉強してきました。次は2級で満点を取り、優勝します」と話した。

「石鳳会計研究会（顧問＝岡野知子経営学部教授）は日商簿記検定試験をはじめ、税理士などの会計専門職試験の合格を目指すサークル。会員同士で情報交換を行いながら、難関試験突破に向けて切磋琢磨している。遠藤巧部長（経営2・宮城県角田高）は「自分が部長になって初めての大会で結果を残すことができてうれしいです。秋季大会は2、3級でともに優勝できるように頑張ります」と話した。

※全国大学対抗簿記大会…資格の大原・大原大学院大学主催（イタリア大使館、日本公認会計士協会、東京税理士会後援）。春・秋の年2回開催され、53回目の今大会は、全国90大学から442人が参加した。

## 石巻・飯野川発サバだしラーメンなど

# 好評博す！

## 「第7回大学は美味しい!! フェア」に参加

▲ 自慢の商品を販売するゼミ生たち。右から２人目が叶さん

経営学部・石原慎士ゼミが東京都の新宿髙島屋で開催された「第7回大学は美味しい!! フェア」（5月28日～6月3日、NPO法人プロジェクト88主催）に参加。「石巻・飯野川発サバだしラーメン」など、石巻市内の各企業と連携して開発した商品の販売とイートインコーナーでの提供を行った。多くの人でにぎわい、好評を博した。

同フェアは、大学での研究や実習を通して生まれた「大学ブランド食品」や、地域との取り組みから生まれた「産学連携食品」を紹介する食の学園祭で、本学からの参加は初めて。石原ゼミは「石巻・飯野川発サバだしラーメン」（物販・販売・イートイン）、「石巻海鮮あんかけ焼きそば」（物販）、「地域連携388そばめし」（テイクアウト）などを出展した。

ゼミ長の叶壽樹さん（経営4・宮城県明成高）らゼミ生10人が会場に駆けつけ、販売を担当。来場した石破茂自民党幹事長、林芳正農林水産大臣、安倍昭恵首相夫人もブースを訪れ、ゼミ生たちは熱心に商品の魅力を伝えた。

叶さんは「多くの大学が参加する注目度の高いイベントに参加でき、名誉なことだと感じています。多くの方に自分たちが開発した商品のことを知っていただくことができました。専大OBの方からも激励やアドバイスをいただき、良い経験になりました。今後のゼミ活動に生かしていきます」と話した。

石原ゼミでは現在、地域の活性化と震災復興を目的とした新商品開発に向け、2つのプロジェクトチームが活動している。▽飯野川地区商店街に新たな名物を作り、リピーターを増やす▽三陸沿岸部や石巻地域の特色と歴史を生かした地場産品の良さをアピールする―の2つで、調査やテストマーケティングを繰り返し、商品化を目指す。

## 自動車技術独創アイデアコンテスト

# 歸山さんが優秀賞

学生が自動車に関する新技術を提案する「第24回自動車技術独創アイデアコンテスト」（主催＝公益社団法人自動車技術会東北支部学生自動車研究会）の高専・大学の部で、大学院理工学研究科修士課程1年次の歸山祐史さん（機械システム工学専攻＝写真）が、優秀賞を受賞した。

歸山さんは、夜間や見通しの悪い場所での2次災害の防止を目指し「自動危険信号点灯装置」のアイデアを考案した。これは、ハザードランプに車載バッテリーから独立した小型充電池と事故検知回路を設置し、交通事故でバッテリーが機能しなくなった時、自動的に点灯させるというアイデア。

第1次の書類審査を突破した歸山さんは発表に備え、ポスターを作成。6月14日、仙台市の宮城トヨタ自動車で行われた本選で発表を行い、高く評価された。

# LED街路灯を寄贈

## ラボ・スフィア 明和電器産業

▲ 寄贈された街路灯をバックに。前列左から中込教授、入間川社長、玉置社長。右端が坂田学長

ラボ・スフィアと明和電器産業の両社からスフィアLED街路灯2基と設置工事一式が寄贈された。街路灯は図書館東側通路付近と北門バス停留所に設置され、省エネ効率の高い光が学生の安全確保に一役買っている。

「東日本大震災の被災地にある大学として、地域に貢献している石巻専修大学でこの街路灯を活用してほしい」というラボ・スフィアの要望から、設置が実現。工事は明和電器産業が担当した。

寄贈された街路灯は、ラボ・スフィアが開発したスフィアレンズを使用。光を効率的に前方に照射できる同レンズを用いたことで、高い照度を確保しつつ、長寿命なLEDを省エネ駆動でき、通常の消費電力400ワットの水銀灯の明るさを36ワットで実現した。同レンズを用いたLED光源の評価には、理工学部情報電子工学科の中込真二教授も協力した。

5月20日には、ラボ・スフィアの玉置義勝社長、明和電器産業の入間川一之社長、坂田隆学長らが出席し、贈呈式が行われた。

## 人間学部

# 幼稚園などで学外授業

▲ 園児に交じって〝忍者体操〟に挑戦

人間学部では実践的な教育に力を入れ、積極的に学外授業を導入している。2年次生23人が履修する人間教育学科の「保育・教育研究」では5月から7月にかけ、石巻市内の小学校、幼稚園、保育所を訪れ、授業考察を実施。学生たちは学外での学習を通し、教育に対する理解を深めた。

5月は石巻小学校で2回の授業見学会を開催。6月9日には3班に分かれ、住吉幼稚園、湊幼稚園、稲井幼稚園で授業考察が行われた。学生たちは園児と一緒に体操をしたり、お弁当を食べたりし、園児への読み聞かせを行うなど、幼稚園教育を体験。参観後には講話が行われ、各園の園長が園の活動内容、子どもの変化に気づくことの重要性などについて話した。学生たちはメモを取りながら、現場ならではの実践的な説明を聞いた。

7月24日には石巻保育所、稲井保育所での保育考察が行われる。また、人間文化、人間教育の両学科1年次生が履修する「基礎総合演習I」では地域の見学と調査研究が行われた。学生たちは5月30日に東松島市学校給食センターや石巻青果（石巻青果花き地方卸売市場）を、6月6日にサン・ファン館、トヤケ森山に行き、各施設の特徴や地域との関係性を学んだ。

## 定期総会を開催

### 育友会

▶ あいさつする小松新会長

石巻専修大学育友会の定期総会が6月15日、本学キャンパスで開催された。会員ら45組79人が出席し、2013年度の事業報告と収支決算報告及び監査報告、2014年度の事業計画（案）と収支予算（案）を承認。新会長に小松浩行氏を選出した。

定期総会終了後、支部懇談会（石巻会場）が開催された。大谷尚文人間学部教授（育友会主任）らが出席し、会員に向け、本学の現状や就職状況について説明。会員たちは「石巻専修大学ユニバーシティーハウス」の進捗状況に、興味を抱いていた。